

平成30年度(前期) 科目等履修生・聴講生 受入科目

科目名	教員名	曜日／時限 回(コマ)数 単位数	受入人数の上限	期待する勉学の姿勢(履修・聴講条件)	上限を上回る場合の選抜の方針	学期	備考
植生景観構造論	藤原 道郎	木曜／2時限 15回(コマ) 2単位	4名程度	人と自然の関わりを学ぼうとする意欲があること。生態学に関する基礎知識があることが望ましい。	セミナーや研究生など他のコースを紹介	1前	
樹木植栽管理論	大藪 崇司	月曜／1・2時限 8回(コマ) 1単位	4名程度	高校生物(光合成や植物体の構造など)についてある程度の興味と知識を持ち、科学的な視点を持ち合わせていることが望ましい。		1前	
樹木植栽管理演習	大藪 崇司	木曜／3・4時限 15回(コマ) 通年2単位	4名程度	高木に登っての剪定作業や屋外での土木作業が主となるため、自己安全を第一とするとともに身体管理が可能であること。共同作業も伴うため他者への安全管理、時間通りの出席、体力を必要な活動にも積極的に取り組むこと。		通年	個人用の手鋸・剪定鋏・作業用の服装は必須。天気・その状況により演習が順延されることがあるが、その場合、集中講義期間・土曜での開講とする。通年開講のため、前期、後期を分けて履修は不可能である。
里地里山の保全管理論	澤田 佳宏	月曜／2時限 8回(コマ) 1単位	4名程度	里地里山の保全に関心があること。	上回る場合は、授業時間とは別に、同内容でセミナーを開講することとして、全員を受け入れる。	1前	
緑環境景観政策論	平田 富士男	火曜／2時限 15回(コマ) 2単位	4名程度	緑環境を活かしたまちづくり政策やまちづくり活動の現場で、その活動に実際に取り組んでいこうとするため、必要となる知識や技術を身につけようとする勉強姿勢を期待する。	履修希望者が受け入れ上限を上回る場合は、研究生、科目履修生、聴講生の優先順で受け入れる。そのうえで、さらに同種の受講生だけで上限を上回る場合は、面接を行い、履修の動機、履修後の方向性などを聞き左記の方針に照らして、それにより合致する志望者を受け入れる。	1前	
市民主体の緑環境マネジメント演習	林 まゆみ	月曜／4・5時限 30回(コマ) 2単位	4名程度	市民主体での緑環境マネジメントに関する知識や技術を身につけようとする意欲があること。		1前	